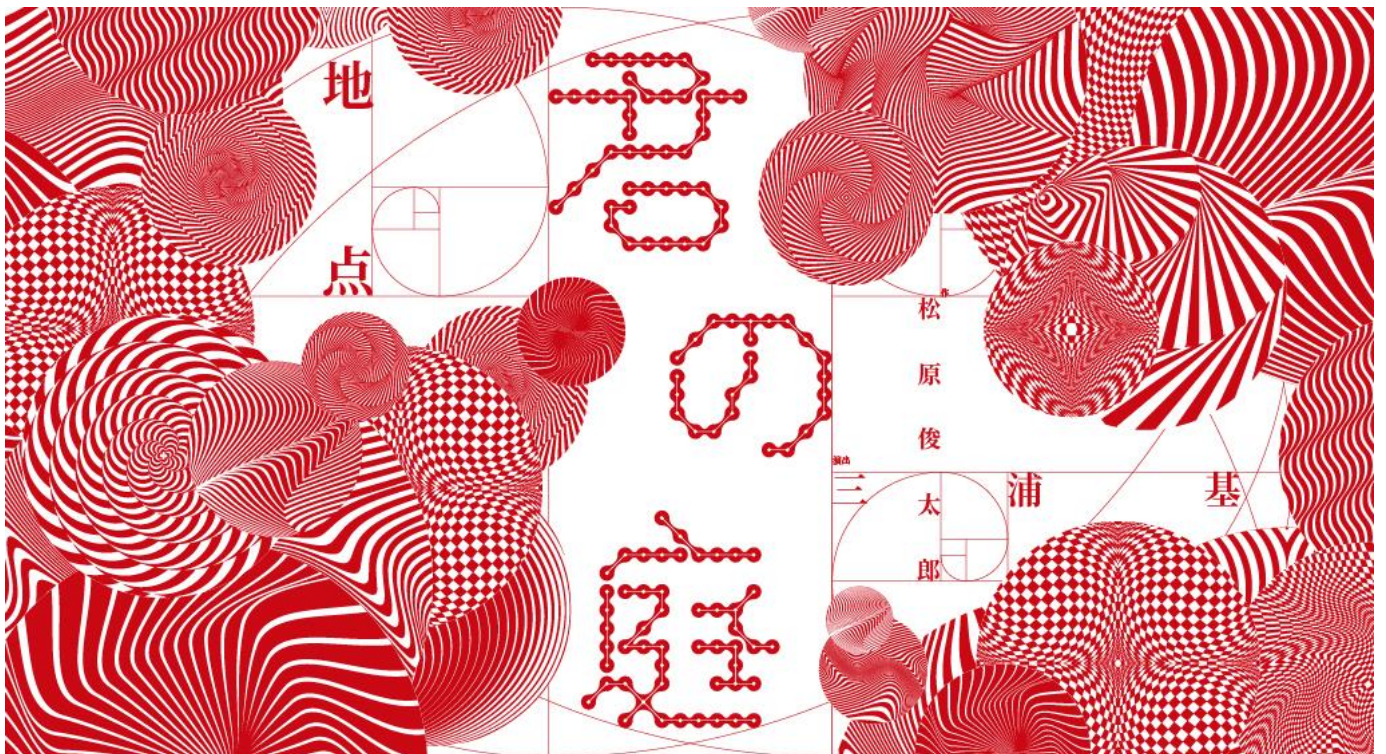


2020(令和2)年7月27日 報道発表資料
[本リリース発信元] ロームシアター京都(公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団)

「オンライン」と「劇場」の二つの空間で発表！

ロームシアター京都 2020年度自主事業

地点「君の庭」



【オンライン版】

配信日程：2020年9月14日(月)～10月18日(日)

配信サービス：PIA LIVE STREAM

【劇場版】

日程：2020年9月14日(月)～22日(火・祝)

会場：ロームシアター京都 ノースホール

[本リリースに関するお問合せ先]

ロームシアター京都(公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団) 広報担当:松本、長野
電話:075-771-6051(9:00～17:00) FAX:075-746-3366 E-mail:press@rohmtheatrekkyoto.jp

構想一年、松原俊太郎がコロナ禍に書き上げた「告・発・劇！」

ともに京都を拠点とする劇団・地点と劇作家・松原俊太郎が、満を持して最新作を発表します。第63回岸田國土戯曲賞受賞作『山山』に次いで松原が地点に書き下ろした本作のテーマは、「天皇制」。法の下での平等、健康で文化的な最低限度の生活、国民の総意……といった、暗黙裡に引き継がれた文言の実態を暴き、「娘」はありうべき「外」へと脱走を試みます。「象徴」的なひとりの人間の姿を通じて、改めて問う、言葉・声・自由！

「オンライン版」「劇場版」について

本作は「オンライン」と「劇場」の二つの空間で発表します。**「オンライン版」と「劇場版」は相互補完的なものとして存在し、「オンライン版」はいわゆる劇場中継ではない、舞台上の出来事に映像演出を加えた内容**になる予定です。本作は京都を皮切りに、豊橋、神奈川にて上演、各地のオンライン版では**それぞれオリジナルのシーン**もあります。なお、3地域のオンライン版は見比べてご覧いただけるように配信期間を調整しています。どうぞご期待ください。

<あらすじ>

沈黙と禁忌を破った娘は、ついに王を訴える。恋人が加勢し、侍従が引き止め、一般人が乱入し、王は思い悩む……これは混線するリアリティショー？ それとも繰り返し再生されるテーブルコーダー？ 嘘のような現実を見ているのはいったいどこの誰なのか、法から逃れんとする「ファミリー」は果たしてどこへ向かうのか。

創作の過程を WEB サービス「note」で公開、随時更新中！

<「君の庭」official note | > <https://note.com/kiminoniwa>



『山山』(2018年)

撮影：松見拓也

<プロフィール>

地点 Chiten

演出家・三浦基が代表をつとめる。既存のテキストを独特の手法によって再構成・コラージュして上演する。言葉の抑揚やリズムをずらし、意味から自由になることでかえって言葉そのものを剥き出しにする手法はしばしば音楽的と評される。これまでの主な作品に、チェーホフ『かもめ』『三人姉妹』、ブレヒト『ファッツァー』、イエリネク『光のない。』『スポーツ劇』など。2005年、東京から京都へ移転。2013年には本拠地・京都に廃墟状態の元ライブハウスをリノベーションしたアトリエ「アンダースロー」を開場。レパートリーの上演と新作の制作をコンスタントに行なっている。2012年にロンドン・グローブ座からの依頼でシェイクスピア作『コリオレイナス』を上演するなど、海外での評価も高い。

演出 三浦基 Motoi Miura



地点代表、演出家。

1973年生まれ。99年より文化庁派遣芸術家在外研修員としてパリに滞在する。2001年帰国、地点の活動を本格化。05年東京から京都へ拠点を移す。これまでの代表作にチェーホフ作『三人姉妹』、イエリネク作『光のない。』など。11年度京都市芸術新人賞、17年読売演劇大賞選考委員特別賞、ほか受賞多数。著書に『おもしろければOKか？ 現代演劇考』（五柳書院）、『やっぱり悲劇だった「わからない」演劇へのオマージュ』（岩波書店）。ロシア・サンクトペテルブルクの国立劇場、ポリショイ・ドラマ劇場（BDT）からのオファーで同劇場のレパートリー作品としてドストエフスキー作『罪と罰』を演出することが決まっている。

作 松原俊太郎 Shuntaro Matsubara



劇作家。

1988年、熊本県生まれ。神戸大学経済学部卒。2015年、処女戯曲『みちゆき』で第15回AAF戯曲賞大賞受賞。2019年『山山』で第63回岸田國士戯曲賞を受賞。小説『ほんとうのことって』を「群像」（講談社）2020年4月号に寄稿。主な作品に『忘れる日本人』『正面に気をつけろ』『ささやかなさ』等。2020年度セゾン文化財団セゾン・フェローI。

<演出ノート>

演劇と天皇制 『君の庭』演出にあたって

三浦基

私はこれまで古今東西の作家によるテキストを舞台作品にしてきました。ヨーロッパやロシアの作家のテキストを扱うとき、そこにはキリスト教が横たわり、必然的に神との格闘の歴史を目の当たりにしてきました。文学や演劇を覗くということは、神との闘いに付き合うと言ってもよいと思います。日本人がそういった向こうの文学や演劇にどうしても距離を感じてしまうのは、つまりキリスト教にいささか不慣れだからと言えます。これは、仕方のないことだと思いますし、だからこそ、私は演出でその距離を縮めることを試みたり、あえて遠くに突き放してみたりと自由にやってきたつもりです。

と同時に、私は日本に横たわっている天皇制というものもそれなりに自由に扱ってきました。太宰治は玉音放送を聞いた時のことを『トカトントン』という短編小説でユーモラスに表現しました。私の演出作品には玉音放送を扱った作品がいくつかありますし、最近では、現上皇の「お気持ち会見」なども題材にしました。

日本の作家で天皇制と真っ向から格闘した人は、そう多くありません。先日、三島由紀夫のドキュメンタリー映画を見て、なるほど、これは天皇制との闘いだと納得しましたが、しかし三島文学においてどれほどその成果があったかという心もとないです。それは彼が天皇制擁護者だったからという意味ではありません。結局、行動の方が言葉よりも勝ってしまった哀しさがある。おそらく、日本人が天皇制について触れる時、キリスト教を相手にする向こうの作家よりもどこか腰が引けてしまうからではないかと思うのです。未だに強烈なタブー。日本という小さな国だからこそ、人々の沈黙は広がりを増す。天皇制について外国の人々にどのように説明したらよいのか、私も大変に苦労しますし、そもそもそのような機会をあまり持たないで済んできたことは、この国が安全で平和だからという強固なイメージに支えられているからでしょう。

今回、『君の庭』のテーマは、天皇制となりました。もちろんそれに反対か賛成かを巡るお話にはならないでしょう。天皇制によって苦しんでいる人々も登場しないでしょう。ただひとつ言えることは、この国で一番リアリティのあるドラマは本当のところ天皇制にあるのではないかと、というのが私の直観です。このテーマを引き受けた松原俊太郎という作家は、だから凄いです。彼はキリスト教を引き受けることもできないし、それを知っているふりもしたくない、このテーマに付き合うしかないことを嗅ぎつけている。『君の庭』で彼はいつものとめどなくしゃべり続ける饒舌さではなく、簡潔な台詞を提出してきました。登場人物は皇族です。皇族の不満に耳を傾けるとは、野心的な作品です。

<開催概要>

※新型コロナウイルス感染症の状況によって、以下公演情報は変更となる場合があります。
※最新情報はロームシアター京都 WEB サイトに随時掲載いたします。

(2020年7月27日現在)

地点 『君の庭』 京都公演

作：松原俊太郎

演出：三浦基

出演：安部聡子、石田大、小河原康二、窪田史恵、小林洋平、田中祐気

舞台美術：杉山至

衣裳：コレット・ウシャール

衣裳製作：清川敦子

照明：藤原康弘

音響：稲住祐平 (KAAT 神奈川芸術劇場)

映像：松見拓也

舞台監督：大鹿展明、川村剛史 (ロームシアター京都)

宣伝美術：松本久木

制作：田嶋結菜

<オンライン版>

配信日程：2020年9月14日(月) 19:00～10月18日(日) 23:59

配信サービス：PIA LIVE STREAM <https://t.pia.jp/pia/events/pialivestream/>

<劇場版>

日程：2020年9月14日(月)～9月22日(火・祝)

会場：ロームシアター京都 ノースホール

	14日 (月)	15日 (火)	16日 (水)	17日 (木)	18日 (金)	19日 (土)	20日 (日)	21日 (月祝)	22日 (火祝)
15:00	—	—	—	休演	—	—	●	☆	●
19:00	●	●	★		●	★	—	—	—

★ = 終演後ポストパフォーマンストークあり。(トークのオンライン配信はございません)

☆ = 託児サービスあり。(要事前予約・定員有/詳細はロームシアター京都 WEB サイトをご確認ください)

※受付は開演の60分前、開場は開演の30分前(予定)

チケット

オンライン版視聴券

【料金】 1,000 円

【販売期間】 2020年9月1日(火) 10:00~10月18日(日) 21:59

【チケット取扱】 チケットぴあ <https://w.pia.jp/t/chiten-pls/>

劇場版鑑賞券(全席自由・日時指定)

【料金】 一般: 3,500 円 ユース(25歳以下): 2,500 円 高校生以下: 1,000 円

【発売日】 2020年9月1日(火)10:00~ ※感染症の状況により、販売・受付を中止する場合があります。

【チケット取扱】

■ロームシアター京都オンラインチケット 24時間購入可 ※要事前登録(無料)

<https://www.e-get.jp/kyoto/pt/>

■ロームシアター京都 チケットカウンター

TEL.075-746-3201 (窓口・電話とも10:00~19:00/年中無休 ※臨時休館日を除く)

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため短縮営業する場合があります

■京都コンサートホール チケットカウンター TEL.075-711-3231

(窓口・電話とも10:00~17:00/第1・3月曜日休館 ※休日の場合は翌日)

|| 劇場鑑賞券をご購入の方へのご案内 ||

※ご来場時に、ユースは証明書をご提示いただきます。

※車椅子でご来場のお客様は事前にロームシアター京都までご連絡ください。

※未就学児入場不可。

※新型コロナウイルス感染予防対策について、ロームシアター京都 WEB サイトのご案内をご確認の上、お越しく下さい。

※ご購入後、感染症に関連する事由により、ご来場が困難になられたお客様には、チケット代金の払い戻し対応をいたします。

チケットに関するお問合せ:ロームシアター京都 チケットカウンター TEL.075-746-3201

<豊橋・神奈川公演>

2020年9月26日(土)~27日(日) 穂の国とよはし芸術劇場 PLAT アートスペース

2020年10月1日(木)~11日(日) KAAT 神奈川芸術劇場 大スタジオ

※各地、初日~10月18日(日) 23:59 までオンライン配信あり。

主催:ロームシアター京都(公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団)、京都市

制作:地点

共同製作:ロームシアター京都、穂の国とよはし芸術劇場 PLAT、KAAT 神奈川芸術劇場

助成:文化庁文化芸術振興費補助金(劇場・音楽堂等機能強化推進事業)|

独立行政法人日本芸術文化振興会